

令和7年度第2回刈谷市青少年問題協議会議事録

日 時	令和7年12月17日（水） 午前10時～午前11時
場 所	刈谷市役所 7階 701会議室
出席者	委員 13名 事務局 5名 オブザーバー 1名
欠席者	委員 4名

1 議題

（1）令和7年度刈谷市青少年関係事業の中間報告について
事務局から説明を行う。

【主な質疑等】

- ・夢が広がる未来応援事業について、主な対象者は中学三年生という認識だが、資料には市内の中学生とある。実際の対象者は誰か?
→主に中学三年生を対象としているが、中学校ごとの人数の調整の上で会場の定員に達しない限り中学一年生、二年生も参加できるため、資料には対象者は中学生という形で掲載をしている。
- ・以前の会議でリモート参加ができると、さまざまな状況の生徒も参加することができるためぜひ進めてほしいとお願いをしたが、この点はいかがか。
→今年度は権利の関係でリモート参加を実現することができなかつたが、来年度以降は引き続き交渉を行っていく。

（2）青少年の健全育成に関する取組状況等について
各委員より説明。

【主な質疑等】

- ・刈谷市民生委員・児童委員連絡協議会の取組のうち、「刈谷市こども家庭センター・ヤングケアラーについて」の講話について、内容を詳しく教えてほしい。
→市からは今年度実施したヤングケアラーについての実態調査の報告があった。三校の小学五年生及び三校の中学二年生を対象とした調査で、世話をしている人がいるかどうか、その世話をしていることによってやりたくてもできないことがあるかを聞くもの。調査の結果を受け、市から聞き取りなどを行ったところ、支援すべき家庭が一件あった。この家庭については、ヘルパーを派遣しサポートを行っていく。来年度は全校において調査を行っていきたいとのこと。
→愛知県は家庭で何らかの世話をしている子どもは多い。そのうち問題を抱えているケースは3～5%ほどで、全国的にも多い。特に高校生は家族の世話のために進路を諦めてしまう場合も多く、問題としては大きいので、高校生を対象として調査することも視野に入れていただきたい。

（3）刈谷市における外国にルーツを持つ子どもの支援のニーズと取組状況等について
事務局から説明を行う。

【主な質疑等】

- ・愛知県は日本語指導が必要な子どもが全国的に見ても非常に多い。製造業の多さが理由としてある。刈谷市内の活動でご紹介いただけるところがあればお聞きしたい。
→学校教育課が行っている、外国語を母語とする児童・生徒及び保護者のための進路説明会は刈谷独自のものである。刈谷の小中学校の語学指導員のサポートのもと行われる。外国にルーツを持つ子どもの保護者は情報を得ることが難し

いので、こういった機会は貴重である。

- ・現在刈谷市において外国にルーツがある子を専門で対象とする部署はあるか。
→市民協働課が多文化共生について取り扱っている。子ども・若者総合相談窓口は外国にルーツのある子どもを専門に取り扱うわけではないが、外国にルーツのある子どもの相談も受け入れている。
→外国にルーツにある子どもの困りごとへの支援について責任を持つような部署があると良いので、検討をしてほしい。

(4) 刈谷市における部活動の状況について
事務局から説明を行う。

2 その他
事務局より事務連絡

【閉会】 午前 11 時 00 分